

★つぎの文しようを読んで、後のもんだいに答えましよう。

わたしたちは、毎日の生活の中で、たくさんのごみを出します。また、ごみにも、もやせるごみやもやせないごみ、かんやペットボトルなどのようにしげんとなるしげんごみなど、さまざまなしゆるいがあります。

今、わたしたちのまわりでは、ごみを少しでもへらそうと、さまざまにな取り組みが行われています。

たとえば、買い物をしたときにふくろをもらわなかったり、使えるものはすてずに何回も使ったり、ごみをきちんとしゆるいべつに分けたりすることです。これだけでも、ごみをへらすことができるのです。

大切なのは、わたしたちひとりひとりが、ごみのことをしんけんに考え、へらすためにできることから始めることなのです。

(中林英純「くらしとごみ」より)

1 線1「さまざまな取り組み」について、①、②のもんだいに答えましよう。

① 何のための取り組みですか。六字で書きましよう。
7〜9行目「ごみを少しでもへらそうと、さまざまな取り組みが行われています。」から考える。

ごみをへらす

ための取り組み。

② 取り組みの内ようをつぎのようにまとめました。□に当てはまることばを、十字までで書きましよう。

・買い物をしたときふくろをもらわない。
・使えるものは□。
・ごみをきちんとしゆるいべつに分ける。

11〜12行目に「使えるものはすてずに何回も使ったり」とある。

す	て	ず	に	何
回	も	使	う	

2 線2「ごみをきちんとしゆるいべつに分けたりする」とありますが、ごみのしゆるいを、文しよう中から三つ書きぬきましよう。
3〜5行目をよく読む。

も	や	せ	る	ご	み
も	や	せ	ない	ご	み
し	げ	ん	ご	み	

3 ごみをへらすために大切なこととして、当てはまらないものを、ア〜ウから一つえらんで、記号に○をつけましよう。
おわりの4行をよく読む。

アごみのことをしんけんに考えること
① いつもきれいで新しいものを使うこと
ウますぐることからはじめること